

授業科目の区分等：専門科目 商学・情報学分野

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	2	選択
担当教員			
秋山 綾			

授業のねらい（概要）	小売業で急速に進展する業態革新は、流通の再編を促進し、地域商業における立地間、都市間、業態間での競争関係を複雑化してきた。この間講じられた流通政策にもかかわらず、地方の都心商業は都市の顔たる役割の後退を余儀なくされつつある。緊急に対応を迫られる地域商業とまちづくりについて研究する。講義を通して、未来を見据えた課題解決方法について知見を与える。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 本講義について説明。 2. 「地域商業」とは？ 「地域商業」について説明。 3. 研究題材の決定 「地域商業」において研究題材となる業界とビジネスについて検討し、決定。 4. シナリオ・プランニングとは？ 未来を予測する手法の1つである、シナリオ・プランニングについて説明。 5. 研究題材の”今”を分析 研究材料となるビジネスおよび業界の今についてディスカッションし、発表。 6. 環境分析 研究題材となるビジネスおよび業界の外部環境要因分析をおこない、発表。 7. シナリオ作成（1） 第6回の外部環境要因分析より重要な因子を特定し、マッピングし、「未来シナリオ」を作成し、発表。 8. シナリオ作成（2） 「未来シナリオ」のうち、研究題材となるビジネスの未来のあるべき姿を検討し、発表。 9. 中間発表 第2回～第8回の内容をまとめて発表し、ディスカッション。 10. 研究題材ビジネスの今と将来のあるべき姿のギャップを分析 研究題材となるビジネスの現状と、未来のあるべき姿とのギャップを整理し、発表。 11. 課題の整理 第10回で検討したギャップを解消するために必要な取り組み課題を整理し、発表。 12. 仮説の設定 第11回で整理された課題解決のために取り組むべき課題解決の仮説を検討し、発表。 13. アクションの検討 第12回にて設定された仮説検証のために必要なアクション(研究)を整理し、発表。 14. 研究発表 これまでの研究をまとめてプレゼンテーションを実施。 15. 研究の振り返り 第14回のプレゼンテーションについて、全員で批評(哲学的「批判」)を実施。
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	実践的な問題解決能力
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未来の「地域商業」の未来シナリオ作成を通して、「地域商業」の過去・現在・未来について見識を広げる。 2. 実践を通して、「未来シナリオ」が作成できるようになる。 3. 上記の研究を通して、「研究の手続き」が実践できるようになる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	必要に応じてその都度行う。
履修上の注意	本講義は聴講ではなく、実際にワークを実施するため、毎回の講義後の作業が発生することが予想される。受講者は、作業のための時間が十分に取れるように予定を組んでください。
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告と研究発表：40%（中間報告10%、プレゼンテーション30%） 第9回および第14回講義において実際する「中間報告」と「研究発表」について、評価。評価基準は、講義の際に担当講師より明示。 ・レポート：60% 第14回の「研究発表」にて発表した内容に第15回における「振り返り」や自身の意見などを加筆修正し、提出。 提出方法や評価基準は、講義の際に担当講師より明示。

教科書	なし
参考書・教材	講義中または、講義資料内にて、適宜、紹介。
備考	本講義は、担当講師からの一方的な情報提供ではなく、講義に参加した全員で「地域商業」の未来について研究する。そのため、講義は、毎回、ワークショップ形式またはインタラクティブな形式でおこなわれるため、講義中にディスカッションや意見発表が多く組み込まれている。実際の講義形式については、受講者の人数により決定。
教員との連絡方法	メール（アドレスは授業内で周知）